

湧き水と忠臣蔵の舞台を訪ねて

昔の山科ではあちこちで見られた「湧き水」からスタートし、匠が集まる「仏具・扇子団地」、忠臣蔵にゆかりの深い神社仏閣、そして山科の歴史の奥深さを物語る「中臣遺跡」(なかとみせき)を歩きます。途中、旧安祥寺川沿いの緑道では多くの自然ともふれあえる魅力的なコースです。



【交通案内】

地下鉄東西線柳辻駅下車・出口①
柳辻駅から大石神社方面へ行くには
新十条通南側のバス停「柳辻駅」から、京阪バスに乗りし「大石神社」で下車

【順路】

距離 約5km
柳辻駅 → ゆうなぎの水・柳辻共同洗場 → 折上神社 → 仏具・扇子団地 → 大石神社 → 岩屋寺
7分 11分 4分 7分 2分
→ 山科神社 → 中臣遺跡碑 → 宮道古墳・宮道列子墓 → 坂上田村麻呂墓 → 柳辻駅
2分 15分 3分 4分 10分

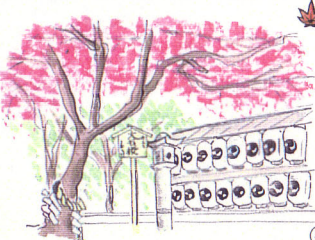
F
コース



滑石(すべりいし)越
大石良雄も歩いた旧街道



4 「大石神社」
クスノキ
大石良雄隠棲の地



4



2 「柳辻共同洗場」
地下水を使って農家の人が
野菜を洗っています



2



山科義士まつり

14

1 「ナギ(桐)の木」
この木は、1976(昭和51)年に山科区が誕生した記念として植えられました。昔、この辺りにナギの大樹があり、遠くからその姿を見つめることができたため、「柳辻」という地名のもとになったといわれています。「区民の誇りの木」に指定。

2 「ゆうなぎの水(湧き水)」
昔、柳辻周辺は湧き水の豊富なところでした。今は少なくなりましたが、ここでは今も湧き水がこんこんと湧き出るところを見ることができます。最近、周辺が整備されました。近くには地下からきれいな水を汲み出して農作物を洗う所もあります。

3 「仏具・扇子団地」
京都の伝統産業、京仏具と京扇子の生産団地です。今も団地内の伝統工芸士の技で仏具や扇子がつくられています。毎年8月には「京扇子・仏壇仏具まつり」が開催され、展示即売やイベントなどが行われ、多くの人で賑わいます。

4 「大石神社」
忠臣蔵で有名な大石内蔵助(おおいしくらのすけ)良雄を祭神として1935(昭和10)年に創建された神社です。毎年12月に行われる「山科義士まつり」の舞台ともなっており、境内にある宝物殿には忠臣蔵に関する資料が多く展示されています。

5 「岩屋寺(いわやじ)」
本堂に安置されている本尊不動明王は大石良雄の念持仏と伝えられているほか、境内には大石良雄の遺髪を納めた塚や、彼が住んでいた住居跡などがあります。ここからは山科の市街地が一望でき、また春の梅や桜、秋の紅葉は必見です。

6 「中臣遺跡(なかとみせき)」
後期旧石器時代(約2万年前)から室町時代(約500年前)におよぶ山科盆地の中心的集落遺跡です。周辺からは古墳、竪穴住居跡、掘立柱建物跡、甕(かめ)などが発掘されており、古来より山科には人の営みがあったことがわかってきています。

中臣遺跡の範囲を示しています

